

平成 19 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日に当院で大腸癌の手術を受けた方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：大腸癌における NADPH oxidase 2 を介した reactive oxygen species による癌進展機序の解明

研究期間：医学部附属病院長の許可日～令和 4 年 3 月 31 日

研究責任者：山梨大学医学部外科学講座第 1 教室 特任助教 古屋信二

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 29 年 5 月 30 日施行）に基づき、匿名化された既存試料・情報の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

我々人間は、呼吸により大気中に含まれる酸素を体内に取り込み、エネルギー代謝を行うことにより高度な生命活動を行っています。しかし、代謝過程で発生する活性酸素は、正常な細胞と比べ癌細胞で多く産生され、癌の増殖に関与しています。活性酸素に関わる NOX2 という膜タンパクは、食細胞で多く発現している蛋白ですが、癌の進展に関わる報告があります。今回の研究で、大腸癌での NOX2 ならびに活性酸素が癌の進展に関与していることが判明すれば、新たな大腸癌治療につながる可能性があります。

【研究の方法について】

手術前に同意を頂いている方に関して、手術で切除した大腸は、病理検査後に当院で保管させて頂いております。今回はこの保管されている検体の一部を使用し、NOX2 の発現量の検査を行い、比較検討します。また、手術を行った際の年齢や病理結果なども併せて検討いたします。

【利用する試料・情報について】

〈対象となる患者さん〉

胃癌の患者さんで、平成 19 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に大腸癌切除術を受けた方

〈利用する情報・項目〉

情報：診療録情報、検査データ

試料：手術検体

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録及び余剰検体より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

【試料・情報を利用する者の範囲について】

この研究において取得する試料・情報の利用者は、本学医学部外科学講座第 1 教室の研究者のみです。

【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計処理を行います。国

が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報 を 厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又は FAX にてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又は FAX にてご連絡ください。

さらに、患者さんのご希望により、遺伝情報の開示を希望する場合には原則開示いたします。ただし、当該遺伝情報の精度や確実性が十分ではない場合、開示することにより精神的負担を与えるおそれがある場合、誤解を招くおそれがある場合には、原則の限りではありません。さらに、本研究で当初は想定していなかった、患者さん及び患者の家族の生命に重大な影響を与えるような、偶発的所見が得られた場合の取り扱いについて、開示を希望する方も、以下までメール又は FAX にてご連絡ください。

〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学医学部外科学講座第 1 教室 特任助教 古屋信二

〒409-3898

山梨県中央市下河東 1110

山梨大学医学部 外科学講座第 1 教室

メール；sfuruya@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-7390